

長崎純心大学 医療・福祉連携センター

講演会・シンポジウム

2013（平成 25）年度

医療・福祉講演会

「地域包括ケアシステム」に関する調査研究の一環として、その構成要素となる「自己決定への支援」「地域づくり」といったことに焦点をあて、これらのことに精力的に取り組んでおられる神戸女学院大学・與那嶺司准教授、武蔵野大学・渡辺裕一准教授のお二人をお招きしました。

與那嶺先生は、障がいのある人への地域生活支援についてご講演いただきました。認知症高齢者など自己決定が困難な人への支援では、本人参加のもと、複数の他者により「本人の意思」を推定することの大切さをご教示いただきました。渡辺先生は、ご自身の調査活動を紹介されながら、限界集落における地域包括ケアシステムについてご講演いただきました。地域住民のエンパワメントによって得られるものとその限界、行政による関与の必要性などをご教示いただきました。

講演会には、本学教職員・学生をはじめ、県内の医療・福祉関係者計 57 名の方々にご参加いただきました。

日時	2014 年 3 月 25 日(火) 13:00～17:00
場所	本学 S309
テーマ	地域包括ケアシステムの構成要素について考える
プログラム	1. 長崎純心大学医療・福祉連携センター長挨拶 2. 講演 I 演題：自己決定が困難な人への自己決定支援について(仮) －障がいがある人への地域生活支援からの学び－ 講師：與那嶺司(神戸女学院大学准教授, 博士(学術), 社団法人日本社会福祉士養成校協会 国家試験合格支援委員会編集委員) 3. 講演 II 演題：限界集落における地域包括ケアシステムへの取り組み(仮) －地域住民のエンパワメントに着眼して－ 講師：渡辺裕一(武蔵野大学准教授, 博士(社会学), 社団法人日本社会福祉士養成校協会 国家試験合格支援委員会編集委員) 4. 討論とまとめ 5. 長崎大学医学部地域包括ケア教育センター長挨拶